

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月24日

協議会名: 鹿沼市地域公共活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
関東自動車(株) リーバス口栗野線	リーバス口栗野線の運行	<p>【「鹿沼市地域公共交通計画」に基づく事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿沼市地域公共交通計画」に基づき、新運賃を令和5年4月1日から導入した。 ・新運賃の導入により、運賃収入の増加及びそれに伴う収支改善を図ることが出来ている。 <p>【高齢者や子ども向けのバスの乗り方教室の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンを活用し、バスの乗り方教室を1回(9月)開催した。 ・小学校向けに、乗車体験型バスの乗り方教室を3回(6、9、10月)開催した。 <p>【利用者を起点とした効果的な利用促進施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳を迎える者に、バス無料券(1回限り)を発行するとともに、その活用方法(帰省、飲み会等に行く際の利用案内)や、バスの乗り方を周知した。 ・小中学生向け夏休みフリーバスの販売、利用案内の実施。 ・小中学生(随行教員含む)を対象に授業の移動にバスを利用する際の割引制度を実施。 	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B R3目標利用者数 33,502人 <実績 21,617人> R4目標利用者数 31,105人 <実績 22,246人> R5目標利用者数 25,915人 <実績 21,229人> R6目標利用者数 24,509人 平成29年 30,139人 平成30年度 33,507人 令和元年度 32,502人 令和2年度 24,949人 令和3年度 21,617人 令和4年度 22,246人 令和5年度 21,229人 令和6年度 24,080人 (R6目標達成率 98.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で減少した利用者は、いまだに回復しておらず、目標を達成できなかった。 ・事業については、「鹿沼市地域公共交通計画」に基づき、路線再編を実施することで、利便向上を図る。 ・高齢者や子ども向けのバスの乗り方教室は、地域の状況に即した、実践的な形で継続していく。 ・バスの利用PRも含めた割引制度を活用し、小中学生～高齢者まで幅広い世代に対して利用促進策を引き続き実施する。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・バス無料券の発行など利用促進策の実施について評価する。地域公共交通計画をもとに路線再編等の効果的な利用者利便の向上が図られることを期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。 				
第三者評価委員会における各委員からの意見	<p>令和6年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しく今が転換期。 ○鉄道など他の交通モードと情報共有を図り、データに基づいた具体的な目標・成果・課題を明らかにし、関係機関と連携のうえ地域全体で検討することが重要。 ○データの基礎となる基本情報は、応用可能なデジタル化にシフトすることを期待する。 				